



## 年末手当に対する若手の声⑦

### 賞与の削減などを行う可能性が言及された10月28日の記者会見について

- ・ こういう時こそ社員の賞与を少しでも上げてもっとやる気を出させるべきだと思う。自分たちの頑張りや収入を増やせたんだと実感し、それに対する会社からの返しがなければ、なぜ、何のために頑張っているのか、わからなくなる。頑張る気は無くなりました。
- ・ 社友会の方で「こんなに貰って世間の目が怖い」と言っている人たちはまずは自主返納するぐらいの気概が無いのならそのような発言を軽率に発するべきではない。どの人にも生活があり、家族がいる。会社を発展させていくのは役員ではなくここで働く社員一人ひとりだ。それをけん制するかのように世間に対して賞与カットを訴えるのではますます社員はやる気をなくす。
- ・ タブレットの動画配信で「人への投資はお金だけではない」と言っていたが、私たちは労働力を売って賃金を得ている。コマのように働くつもりはない。やりがいや達成感だけを与えるだけの研修や業務はやりたくない。やるなら個人のスキルアップと賃金アップは両立すべきであり、それはピックアップされた人だけではなく全社員に公平に与えられるべきである。
- ・ 前年度よりは収入が増えているのに手当を下げるのはどうなのか。コストカットをするのならまず役員報酬を社員並みにすべき。
- ・ 感染源もあるが、乗客増は自分たちの安全・安定輸送を担う努力があったからこそだ。黒字目標ならなおさら満額回答すべき。
- ・ 呆れた。賞与の意味を会社はわかっていない。それよりも前にコストカットできるところがあるはず。職場訪問では黒い高級車で来ることもあるが、まずはそれじゃないのか。社員はただのコマ扱い。モチベーションの一つでもあった賞与に手を出さず発言をしている時点で会社を信用できない。
- ・ 役員は？そこに言及することなくいきなり社員の手当を削減するなんて言うとは…。これで会社の社員に対する姿勢というのがはっきり分かったと思う。「一番に切り捨てるのは社員である」と明言したようなものだと感じた。「社員やその家族の幸福」なんてこれっぽちも考えていない。

**社友会ではこのような声があっても交渉できない！！  
労働組合に結集し、年末手当の満額回答を勝ち取ろう！！**